

# 福建省青少年訪日交流団を迎えて

8月2日（木）、福建省青少年訪日交流団の歓迎会が横浜市内で行われました。今回で二度目の訪日となる同訪問団ですが、小学生から大学生までの22名が5泊6日の日程の中、横浜市緑区の横浜翠陵中学・高等学校を訪れ、同校の生徒と交流しました。



この訪日団は、当協会と友好提携のある福建省の外国機構センターが企画したものです。今回は横浜市国際政策課のご協力と佐久間健一校長のご好意で学校施設内での交流となりました。



日本の学校を初めて見学した団員や付き添いの大人たちは、興味津々で、案内の先生や生徒たちに様々な質問を投げかけていました。

交流会では始めに訪日団が歌を披露した後、年齢別の三つのグループに分かれ、英語や通訳を交えて懇談しました。最初は遠慮がちでぎこちない雰囲気でしたが、お別れの時間が近づくと互いの連絡先を交換したり記念撮影したりで、バスの出発時刻が過ぎても名残惜しい様子でした。



交流会の最後に、訪日団の皆さん全員に「日中友好交流使者章」が手渡されました。



参加した横浜翠陵の生徒さんは、「今日は楽しかった。このような交流会にはまた参加したい」と感想を述べていました。



また、外国機構センターでは、今回の訪日団参加者からの好評と要望を踏まえ、次回はぜひ日本の家庭訪問も実現したいと意欲を示しています。

